

その他 Q-03

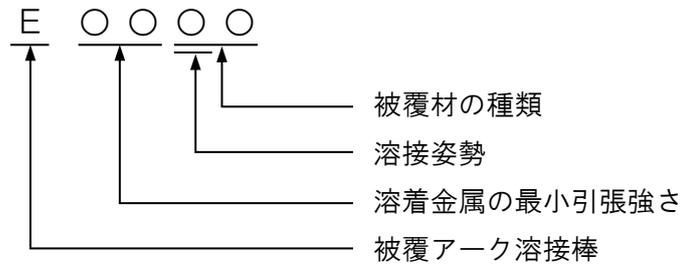
焼抜き栓溶接

低水素系溶接棒

焼抜き栓溶接の溶接棒は、E4316 又は E4916 を使用することになっていますが、使い分ける判断基準はありますか。

その他 A-03

まず、最初に溶接棒の記号の意味を説明します。



E4316 の「43」および E4916 の「49」は、溶着金属の最小引張強さ 430 および 490 (N/mm²) を表し、E4316とE4916の「16」は、被覆材の種類が低水素系で全姿勢溶接が可能であることを表します。

上記より、鉄骨の梁母材への影響を考慮し、軟鋼 (400N/mm² 級) の場合は「E4316」、高張力鋼 (490N/mm² 級) の場合は「E4916」で使い分けてください。

参考に、各メーカー別の対応銘柄は下表の通りです。

メーカー名	E4316 の銘柄	E4916 の銘柄
JFE 溶接棒 (株)	-	KS-76
日鉄溶接工業 (株)	NSSW-16	NSSW L-55
(株) 神戸製鋼所	LB-26	LB-52

ご使用前に溶接棒の容器に書かれている表示「JIS Z 3211 E4316」・「JIS Z 3211 E4916」をご確認ください。